

令和2年度第3回理事会議事録 (正)

一般社団法人 海洋会

1. 日 時 令和3年3月19日(金) 14:00~15:00  
2. 場 所 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル401号会議室  
(今回は、遠隔出席と対面出席の組み合わせで実施した。)

3. 議 案

- 第一号議案 : 令和3年度第101回定時社員総会開催日について  
第二号議案 : 令和3年度事業計画(案)について  
第三号議案 : 令和3年度収支予算書(資金収支)(案)並びに令和3年度正味財産増減予算書内訳表(案)について  
第四号議案 : 「海洋会の行く末について」検討委員会(仮称)委員長の推薦について

4. 報告事項

- (1) 令和3年度社員選挙結果の報告  
(2) 海洋会創立100周年記念事業特設委員会報告  
(3) 専務理事が事務局長業務を兼務する件について

5. 出席者(50音順、敬称略)

理 事

石津 則昭 石田 隆丸 岩本 勝美 江川 央生 遠藤 充  
掛谷 茂 葛西 弘樹 小島 茂 佐田 昌弘 長南 賢司  
百目鬼 健 橋本 正孝 藤井 照久 平塚 惣一

監 事

岡本建之介  
桑田 守

オブザーバー

国土交通省海事局海技課 船員教育室長 鶴山 久

6. 議事の経過及びその結果

- (1) 事務局から、本日の理事会は、理事定数20名のところ出席者14名(遠隔10名/会議室4名)で、定款38条の規定により本会は成立していること、岡本建之介 監事(遠隔)並びに桑田守監事(遠隔)が出席されていることが報告された。
- (2) 定款39条の規定により会長が議長となり議事を進めた。まず、議事録について議長から「法令の定めるところにより、出席した代表理事及び監事が議事録に記名押印することが義務付けられている。なお、押印については、事務局が作成した議事録(案)をメールで送付するので確認頂き、必要箇所を訂正のうえ返送願ひ、事務局

で議事録を作成させる。その後議事録（正）を郵送するのでご確認戴き、記名押印ののち返送戴きたい」と説明した。

### （3）議案の審議

配付資料の確認後、以下の通り議案が審議された。

第一号議案 事務局から「定款第19条（招集）により、社員総会の開催日の決定は理事会の承認事項となっていることから、令和3年度第101回定時社員総会の開催日を6月18日（金）14時00分～ 海事センタービル401・402会議室で行う」旨、説明された。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第一号議案は承認された。

第二号議案 事務局から「配付資料－1＜令和3年度事業計画（案）＞にて、令和3年度事業計画（案）は、太宗においては令和2年度事業計画を踏襲しているが、毎年物故者が約100名程度、高齢化により退会して行かれる会員が約100名程度、合計して毎年200名程度の会員数が減少しており、これにより会費収入が減少していくという現実を直視しなければならないとし、令和3年度は収支改善を図っていくことを第一義として事業計画を立案し、これを実行していく」旨、説明を行った。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第二号議案は承認された。

#### 〈主な質問と回答〉

- ・（石田理事）令和3年度事業計画（案）の冒頭に海洋会の沿革が記述されているが、神戸商船大学設立の経緯の説明について記述内容の精査を行って頂きたい。
- ・（事務局）見直しを行い、必要であれば修正を行う。
- ・（葛西理事）財務状況の改善のために行っている督促や准員への働きかけ、及び准員卒業者の再加入の呼びかけなども行っていると思われるが、その結果はどのようなになっているか教示願いたい。
- ・（事務局）以下の通りである。
  - ◎レッドカード対象者の回収率 9.3%（発送数75／入金者7）（2020年度）
  - ◎イエローカード対象者の回収率 18.6%（発送数86／入金者16）（同上）
  - ◎②番会員（4年以上会費を支払っていない会員）の回収率 1.2%（発送数3,478 入金者43（同上）（※2011年度からずっと1.0～1.8%の回収率）
  - ◎准員入会率（海洋大のみ対象）40%（入学定員170名）（同上）
  - ◎准員卒業者の新規入会者数 11名（2019年度）／21名（2020年度）

第三号議案 事務局から「配付資料－2＜令和3年度収支予算書（資金収支）（案）＞を示し、令和2年度の予算案では、1. 事業活動収入は 4,989 万円でしたが、令和3年度の予算案では 4,939 万円となっています。会費収入が前年度より

100万円減少すると予想され、事業活動収入が減少する中であって、横浜海洋会館の会館使用・運営収入の増収を見込んでおり、事業活動収入全体では49万円の減収に留まると予想している。但し、新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続する場合は、横浜海洋会館の会館使用・運営収入(85万円)の増収が見込めないことから、更なる減収が予想される。一方、令和3年度収支予算(案)では、収支差額が△15,450,475円となり、赤字予算となることから、この結果を公認会計士に相談した。その際、海洋会が保有する国内公社債(利付国債322回(10年))の償還(元本保証であるので4,100万円)が令和4年3月20日になることから、収支の推移をみながら必要であれば令和3年度下期に開催される理事会で基本財産の取り崩しについて承認を得たいと考えている旨説明した結果、公認会計士の了解を得ることができた」と説明した。

次に、「配付資料-3<正味財産増減予算書内訳表(案)>を示し、正味財産増減予算書内訳表(案)では、減価償却費(建物)、(什器備品)と(ソフトウェア)は、経常費用として認められていることより、これを計上すれば令和3年度期末における正味財産期末残高は、1,510万円のマイナスとなる。これをプラスにする為には、先に説明した基本財産である償還される利付国債を、流動資産に繰り入れることで可能になると想定している。また、経常費用計の実施事業等会計の船員・海事調査研究4,711,725円、講演会等の開催5,213,426円、海事思想の普及5,273,829円、合計15,198,981円は、公益目的支出となる。内閣府に提出している公益目的支出計画(償還期間2012年~2043年;32年間)では、令和3年度の計画額は1,423万円となっていることより、ほぼ同額の償還額となることが予想される」と説明した。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第三号議案は承認された。

#### 〈主な質問と回答〉

- ・(遠藤理事) 令和3年度の管理費の予算額が、前年度と比較して大きく減少している費目が見受けられるがなぜか。
- ・(事務局) 令和2年度は100周年記念事業に関連する費用が全て管理費に計上されていたが、令和3年度はこれらに関連する費用が含まれていないことから、大きな減額となっている。
- ・(平塚会長) 横浜会館のテナント様より、コロナ禍にあり、賃貸料の減額要請もごございますので注視して参りたい。

**第四号議案** 事務局から「本議案は、令和2年11月16日に開催された令和2年度第2回理事会において、「海洋会の行く末について」検討委員会(仮称)を立ち上げることが承認されたことに基づくものである。海洋会が所有する「海本規2-03委員会規程」第4条(委員長)には、「委員会の委員長は、原則として理事のうちから、理事会の推薦により、会長がこれを委嘱する」と定められている

ことより、これまで事務局にて委員長の人選を行って来た。結果、当会の理事であり副会長でもあり、横浜支部長を務めている小島茂氏（東船大 N17）に、委員長就任を打診したところ、委員長職を引き受けてもよいとの回答を頂いた。小島茂氏は、現在船員災害防止協会会長、前日本船長協会会長を歴任しており、人格、見識についても申し分ない人であり、「海洋会の行く末について」検討委員会（仮称）委員長に相応しい人物である。本理事会において、小島茂氏の委員長推薦をご承認頂きたい。尚、「海洋会の行く末について」検討委員会（仮称）の委員については、委員会規程第 5 条（委員）には、「委員会の委員は、会員のうちから、委員長の推薦により会長がこれを委嘱する」と定められていることより、本理事会において小島茂氏の委員長就任が承認されれば、小島委員長の推薦により委員の人選を進めていき、海洋会会長より委員の委嘱が行われることになる」と説明した。その後、本議案につき議長より諮ったところ、第四号議案は承認された。

〈主な質問と回答〉

- ・(事務局) 第四号議案に示された「海洋会の行く末について」検討委員会（仮称）となっている。正式な名称にする必要があると考えているので、この検討・確定は、委員長・事務局に一任して頂きたい。
- ・(理事) 意義なし。
- ・(石田理事) 小島茂氏の委員長就任に異論はない。今後当委員会のやるべき事・目的を明確にして取り進めて頂きたい。その取り纏めの課程で、必要であれば常設委員会（企画・会務委員会）及び理事会に諮り、意見を聞くなど、情報の共有を図って頂きたい。
- ・(小島理事) 石田理事から頂いた意見を参考にさせて頂き事務局と摺り合わせて取り進めたい。
- ・(会長・事務局) 了解した。

#### （４）報告事項

報告事項（１） 事務局から、配付資料－４・５：「令和３年度社員選挙結果報告に関する件、令和３年度社員選出名簿」を示し、以下の通り報告した。

海洋会社員推薦委員会の高瀬敏一委員長より、令和３年度社員選出選挙については、「社員選出規程及び社員選出内規に従って公平・公正に実施され社員候補者 67 名は全員信任された」との報告書（配付資料－４）が提出された。本理事会において添付（配付資料－５）されている 67 名全員の社員選出を御確認願いたい。

報告事項（２） 事務局から、以下の通り報告した。

令和 3 年 2 月 19 日に開催された「第 21 回海洋会創立 100 周年記念事業特設委員会」において、令和 3 年度中の本部主催「創立 100 周年記念祝賀会（以下 100 周年祝賀会）」は、新型コロナウイルス感染拡大に係る諸般の状況に鑑み、中止する囀

であると決議しました。海洋会会長としては、この特設委員会が出した決議を受け入れて、本部主催の100周年祝賀会は中止することとした。

更に引き続いて、以下の提言がなされた。

- (i) 令和4年6月に開催が予定される定時社員総会の後で、飲食を伴う懇親会が開催出来るとなった場合、その懇親会の中で創立100周年をお祝いする。
- (ii) 然しながら、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、飲食を伴う懇親会が開催出来ないとなった場合は、更なる延期は行わない。

海洋会会長として、この特設委員会からの提言を重く受け止め、上記の提言に沿って取り進める。

一方、各支部では、支部主催「100周年記念行事」の開催について本部の意向を注視されているものと推察している。海洋会の本部と支部は、これまでも互いに協力し合って諸活動の遂行に当たって来たところであり、100周年の節目として本部祝賀会と支部記念行事が同じ時期(日時に若干のずれがあったとしても)に行うことにこそ意義があるものと考えている。よって、各支部においても、本部同様に令和3年度中の記念行事開催は中止とすることにご理解をお願いしたい。

但し、令和4年4月以降の支部主催の記念行事については、各支部(地域)での新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視し、開催の時期・規模を見極め、本部と話し合いながら進めて頂きたい。

また、2021年1月末現在のご寄付・入金状況は、以下の通りである。

(i) 個人 : 1,014名 / 1,219万円

(ii) 企業・団体 : 28社 / 518万円

合計 : 1,737万円

(目標金額 2,000万円)

### 報告事項(3) 事務局から、以下の通り報告した。

前述報告事項(2)で説明した様に、海洋会創立100周年記念事業で計画されていた本部主催「創立100周年記念祝賀会」開催の中止が決定されたことより、事務局の通常業務が平準化されることに鑑み、令和3年度より当分の間事務局長をおかず、事務局長の業務は専務理事が兼務する体制とする。

この兼務とする業務体制については、2019年度より開始すること理事会で報告していたが、100周年記念事業に関連する業務量の増加を受け、2名体制に戻した経緯がある。従って、今後の業務量の推移に拠っては、体制の見直しはあり得ると考えている。

### (5) 鵜山久 船員教育室長ご挨拶

「平素は船員教育へのご理解とご協力に感謝しております。今回は、コロナ禍でのWeb参加と云う事で進められており、今後はWebを積極的に活用して頂く事で、海洋

会の活動の幅が広がるものと期待しております。

当室のトピックとしまして、本年 2 月船員養成の改革に関する検討会での取り纏めを行いました。ここでは、JMETS における教育内容の高度化を中心とした内容であり、詳しくはホームページに掲載しておりますのでご参照下さい。今後も船員養成に邁進して参りたいと思っています。最後になりますが、時代のニーズに則した海洋会として進化、発展して頂きたい。」とのお言葉を戴いた。

(配付資料)

- 配付資料－1 令和 3 年度事業計画 (案)
- 配付資料－2 令和 3 年度収支予算書 (資金収支) (案)
- 配付資料－3 令和 3 年度正味財産増減予算書内訳表 (案)
- 配付資料－4 令和 3 年度社員選挙結果報告に関する件
- 配付資料－5 令和 3 年度社員選出名簿

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び出席監事がこれに記名押印する。

令和 3 年 3 月 1 9 日

一般社団法人 海洋会

議長・代表理事	平塚 惣一	印
出席監事	岡本建之介	印
出席監事	桑田 守	印